

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



バレンタインストリート（元町公園下基坂）

No. 160

函館商工会議所報
1994 — 2月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 -1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 -3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 -6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 -1711(代)
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 -6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 -2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52 -0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 -2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 -3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番3	TEL 65 -2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 -5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2 -3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 -1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5 -5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 -5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ2月号 (通巻160号) 目次

今月の表紙／視点 2
 会議所の動き 5

・道商連副会頭に本所会頭が就任
 ・地方拠点都市の指定を受け、都市機能の整備促進へ
 ・函館ーシンガポール間国際定期航空路の開設を要望
 ・本所、亀田・銭亀沢両商工会三役懇談会開催

・情報対策委員会開催
 ・阪神大震災における義援金のお願ひ
 ・所得税の確定申告スタート
 ・道新幹線ルート公表のため調査開始
 ・本所婦人会新年懇親会開催

データをチェック 6
 調査レポート 6
 地域の景気 金融経済概況 (十二月) 9
 市内第一種大規模小売店舗売上高 (十二月) 11
 函館地域の経済動向 平成六年年度 第3四半期 11

誌上講演 10
 ・商人物語ー長谷川次郎兵衛 (3) 11
 共済推進コーナー 12
 ティータイム 13

暮らしのワンポイント 12
 ・アイラブゆうちゃん 12
 ・有段を目指して 12
 ・生前贈与と相続対策 (4) 15

アドバイスコナー 14
 Q & A 16
 ・みんなの相談室 税務相談 労務相談 17

ご案内 18
 ・新入社員セミナーご案内 18
 ・「高年齢者の雇用を考える集い」ご案内 18
 ・刊行物「函館市貸金指標」のご案内 18
 ・所得税等の申告・納付のお知らせ 18
 ・CD-ROM設置のお知らせ 18
 ・北海道の最低賃金P・R 20

北海道の最低賃金P・R



◇今月の表紙

バレンタインストリート
 (元町公園下基坂)

「バレンタインの夢を函館で、をキャッチフレーズに'95はこだて冬・フェスティバル(二月一日〜十四日開催)では、今年新たに元町公園下基坂をバレンタインストリートと称し、天使と雪をモチーフにしたエンジェルドールが新しく設置され、音と光の幼想的な世界をかもしだし、市民や訪ずれる観光客を楽しませてている。

視点



一月十七日、史上初めて震度七(激震)を記録、大災害となった阪神大震災、ライフライン(水・電気・ガス)、道路、港湾、鉄道、通信、住宅、ビルの破壊など調査が進むにつれ、災害の規模は大きくなり、死者は五千人を超えてしまった。
 わが国は、都市直下型地震に対しまったく無防備であったことがはつきりし、多くの人々に不安を残した。亡くなられた方のご冥福を祈り、被災を受けた皆様の一日も早い復興を心から祈念したい。
 今も二十七万人とも云われている人々が避難所生活を余儀なくされており、余震の不安をかかえ不自由な生活を強いられている姿をテレビなどで報道されるたび、一日も早い住宅確保の必要性を痛感させられるのは、皆同じ思いではないだろうか。
 また、災害に会われ復興に立ち上がろうとしている中小企業者の営業活動が順調に進められるよう政府をはじめ関係機関に対して、その支援策を要望するものである。
 この地震で失ったものは大きかったけれど、教えられるものが数多くあるように思った。
 政府、県、市町村、地域住民、そして家族のコミュニケーションなどは必要性を痛感した。ある倒壊したマンションの方々は全員が声を掛け合い、住民の確認をし、埋もれている人を救助し、全員が無事避難できたという。また、緊急時に備え普段から緊急生活用品の確保、家族がバラバラになった時の避難場所の連絡などためて話し合ったとも云われている。
 緊急時の対応については、起きてから考えては遅いので、起きる前からきちっと整理しておくことが重要ではないかと思われた。
 今回の大震災では、医療、炊き出しなどのボランティア活動が数多く報道されているが、地震発生直後からのそれらの活動が多く、被災者を勇気づけ、一日も早い復興が図られるものと感じている。ボランティア活動に携わっておられる方々に心から敬意を表したい。

会 議 所 の 動 き



道商連副会頭に本所会頭が就任 道商連常議員会、臨時会員総会等開催

北海道商工会議所連合会の第百十七回常議員会並びに第百二十五回臨時会員総会が、去る一月十八日札幌市で開催され、空席となっていた副会頭に本所の松本演之会頭が選任されました。

なお、任期は残任期間の平成七年十一月末日までとなっております。

また、去る一月二十七日、美瑛町のホテルを会場に、全道商工会議所から五十四名の専務理事・事務局長が出席して、商工会議所を取り巻く諸問題について討議がなされました。

当日は、北海道商工会議所連合会の運営委員会をはじめ、専務理事・事務局長会議、さらには、商工会議所北海道ブロック会議などが相次いで開催されました。

専務理事・事務局長会議では、道商連堀北専務理事の挨拶に続き、北海道通商産業局、北海道の各担当部次長からそれぞれ施策の説明

がなされました。次いで、事務局

から運営委員会で決定された平成七年度会費徴収方法や各ブロック商工会議所会頭と北海道通商産業局長との懇談会について報告がなされました。

さらに、事務局から平成七年度事業方針、全道商工会議所大会な

どの協議事項について説明があり、原案通り決定しました。

一方、平成六年度商工会議所北海道ブロック会議では、日本商工会議所西川常務理事より、商工会議所をめぐる当面の諸問題について説明があり、活発な論議が交わられました。

なお、第四十五回全道商工会議所大会につきましては、六月十三日札幌市で開催することに決まりました。

地方拠点都市の指定を受け、都市機能の整備促進

函館市を中核とする函館圏（函館市、上磯、大野、七飯各町）は、昨年九月地方拠点都市地域整備法に基づく指定を受け、基本計画の策定を行い、同年十二月二十八日、道の承認を受けました。

今回承認された基本計画では、地域整備の基本コンセプトを、「歴史と文化が香る国際交流都市圏の形成」とし、(一)、北の新たな経済文化交流圏の形成(二)、世界に開かれた国際観光都市の形成(三)、交通・情報ネットワークの形成を三つの柱として、二十一世紀に向けた「職・住・遊・学」機能が備わった拠点都市づくりを進めていく事としていきます。

当市では、特に函館駅周辺整備を地域の最重点事業として位置づけ国際交流都市としてのシンボル拠点として、整備を進めていく事としています。また、五稜郭地区では、歴史と文化を生かした交流拠点、西部地区では、歴史的環境を生かした国際観光交流拠点として、各種事業を進めていく事としています。

シンガポールへ函館市長親善訪問団 国際定期航空路の開設について要望

函館観光協会と函館シンガポール協会が企画した函館市民シンガポール親善訪問団のチャーター便が一月十六日から五日間の日程で実施されました。

この中で函館市長を団長とする公式代表団が編成され、本所からは小笠原副会頭、また観光協会長の沼崎副会頭、シンガポール協会長の柳沢常議員などが参加しました。

代表団は、二日目の十七日シンガポール航空本社で、函館くシンガポール間国際定期航空路の開設



について要望を行ったほか、シンガポール政府観光局エドモンド・チェン会長を敬訪問し、今後の両地域の交流促進について話し合を行いました。

また、本年三月オープン予定の一万二千人収容可能なコンベンションホールを持つサンテックシティなどの視察を行ったほか、十七、十八日の二日間ビジネス街にあるラウ・パ・サのフェスティバルマーケットを会場に、函館観光物産フェアを開催し、本市のPRを行いました。

本所と亀田・銭亀沢両商工会 三役懇談会開催

本所と亀田・銭亀沢両商工会の三役懇談会が、去る一月二十四日、開催されました。

この会議は、三団体にあっては、当地域に係る諸問題について、全体的な立場で相協調し積極的に対処していくことを目的に種々懇談するもので、毎年二回程度開催し

ています。

当日は、本所松本会頭から、昨秋行われた議員改選により新三役が就任した旨の挨拶がなされた後、地域の抱える懸案事項の道新幹線の早期着工、新外環状線の早期建設、函館空港の拡充整備、住み易く活力と潤いのある街づくりなどの実現に向けて、今後とも三団体が一致協力し推進していくことを確認し合い、会議を終えました。

情報対策委員会開催

情報対策正副委員長会議、並びに委員会が去る一月二十五日に沼崎担当副会頭を始め森委員長等所属委員が出席し本所会議室で開催されました。

正副委員長会議では、雇用創設二百四十万人、波及効果百二十兆円と云われる「マルチメディア」いわゆる情報通信産業について、今後とも他部会や委員会と連携した委員会活動を通じ活発に、検討研究することで意見の一致をみました。

引き続き行なわれた、委員会では「情報処理技術者試験」の地元

開催について本年度中に試験場開設の申請書類を道通産局に提出することになり、又、「第四回データーベース入門セミナー」を三月三日に開催することになりました。若者の人材育成の一端として毎年実施している高等専門学校のプロットコンテスト全道大会が、当市で開催するに当り、本所創立百周年記念事業として後援することになり、最後に、函館市民テレビの遠藤取締役より同テレビの「現状と今後の推移について」説明がありました。

この度の阪神大震災、そして昨年末に発生した三陸はるか沖地震における、被災者の皆様方に対し、本所では義援金を受付けております。

会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(銀行名) 北海道拓殖銀行 函館支店
(預金種別) 普通預金 3293238
(口座名義人) 函館商工会議所 災害義援金会計
会頭 松本 演之

※詳しくは、函館商工会議所 ☎23-1181 (内線10-12) まで

所得税の確定申告スタート ご相談は、完全予約制です！

平成六年分所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日（土・日曜日を除く）までです。

本所中小企業相談所では、この期間中通常の相談業務の他に「税務指導所」を設置し、納税相談を



▲確定申告はお早めに！

お受けしています。決算や申告に関することにつきましては何なりとお気軽にご相談下さい。

なお、確定申告のご相談は「完全予約制」となっておりますので、お早目に電話などで予約されて定められた日時において下さるようお願い致します。

また、お知り合いの事業主の方で、決算・申告について本所でご相談をお受けになりたい方がおられましたら電話にてご連絡下さい。（☎二三一一八一番、相談課）

納税相談時にお持ちいただく書類等は次のとおりです。

- 。 税務署から送付された決算書及び確定申告用紙
- 。 生命保険料、損害保険料控除証明書
- 。 国民健康保険料及び国民年金の支払額が分かるもの

。 源泉徴収票

。 印鑑

。 平成六年分帳簿、領収書等

※二月、三月の移動経営相談室（日本団体生命ビル三階）は、納税相談期間中につき、中止させていただきますので悪しからずご了承願います。

道新幹線ルート公表のため ボーリング調査開始

北海道新幹線ルート公表のためのボーリング調査が、去る一月二十日、JR渡島大野駅近くにおいて開始され、昭和四十八年に整備新幹線計画が策定されて以来、道新幹線としては初の具体的な事業着手となりました。

当日は、それを記念し、道新幹線建設促進期成会主催による祝賀会が行われ、地元からは道新幹線建設促進道南地方期成会会長（本所松本会頭）をはじめ、関係者約百名が出席、主催者を代表し同会長より力強い挨拶がなされました。また、これを契機に青函同時開業に向け、地元として新たな運動を展開する考えであります。

本所婦人会 新年懇親会を開催

去る一月十二日、本所婦人会新年懇親会が湯の川温泉・わか松において開催されました。

当婦人は、会員相互の連絡と提携を図るとともに、婦人の立場から商工業の改善発展と商工会議所の組織強化に寄与することを目的として活発な事業活動を展開しておりますが、恒例の新年会では、神本会長、本所平原専務理事の挨拶で始まり、会員の連日特訓？の踊りなどで、会場は爆笑と拍手喝采で一段と盛り上がり、懇親を深め、盛会裡に終了しました。



▲踊りを披露する本所婦人会会員



事務局日誌

1月

* 正副会頭会議

- 9月 第8回正副会頭会議
- 24日 第9回正副会頭会議

* 委員会

- 25日 情報対策委員会正副委員長会議
- 情報対策委員会
- 31日 文教委員会正副委員長会議

* 会議(日商)

- 18日 第22期議員選挙北海道選挙区選挙会
- 26日 小企業等経営改善資金融資制度に係る運用推進研究会 (~1/27)

* 会議(道商連)

- 10日 全国商工会議所共済会退職共済制度ブロック説明会
- 〃 丘珠空港整備に関するアンケート調査の実施に伴う事務打合せ
- 18日 正副会頭会議
- 〃 第117回常議員会、第125回臨時会員総会
- 〃 全道商工会議所会頭会議
- 〃 正副会頭懇談会
- 27日 第32回運営委員会
- 〃 第159回全道商工会議所専務理事・事務局長会議
- 〃 平成6年度商工会議所北海道ブロック会議

* 審査会

- 27日 第11回小企業等経営改善資金審査会

* 諸会議

- 10日 函館空港連絡協議会
- 〃 函館財務事務所財政・金融政策等に対する意見、要望について(ヒヤリング)
- 〃 函館社会福祉協議会、評議員会
- 17日 函館財務事務所懇談会
- 18日 日本商工連盟北海道連合会総会
- 21日 所報「ともえ」2月号編集会議
- 23日 渡島管内商工会指導関係機関と商工会長懇談会
- 〃 FMいるかとの打合せ
- 24日 本所、亀田、銭亀沢商工会三役との懇談会
- 〃 本所婦人会役員会
- 25日 函館地区税務指導協議会
- 26日 平成6年度第3回振興委員連絡会議
- 〃 函館情報拠点都市地域研究会第1専門部会
- 〃 函館卸商連盟役員会
- 30日 本所婦人会臨時総会
- 〃 函館税務署指導員税務研修会
- 〃 第3回函館地域特定中小企業集積支援技術開発事業推進委員会
- 〃 第5回函館コンベンションビューロー設立検討委員会
- 〃 本所議員会役員会
- 31日 平成6年度第1回特別史跡五稜郭跡保存整備委員会

* 講習・催物

- 4日 年末調整相談指導 (~1/10)
- 10日 函館信用金庫理事長杯第18回函館地区小中学生珠算競技大会
- 17日 経営相談
- 〃 第49回春物函館靴履物卸合同見本市
- 18日 第28回はこだて物産まつり (~1/24)
- 〃 発明相談
- 〃 中小企業相談所移動相談室
- 19日 第1回飛騨・美濃・木曾路 味と工芸まつり (~1/24)
- 23日 白色申告記帳義務者決算説明会
- 25日 決算、申告セミナー
- 27日 法律相談

* 刊行物

- 10日 所報「ともえ」新年号 No.159

* 相談・診断

金融	49	税務	271	経理	7	経営	22
労働	1	取引	1	その他	1	合計	352

* 貸 室 9

* 文 書 受信 156 発信 3

* 検定・大会

- 29日 平成6年度第4回4級ワープロ技能検定試験

* 陳情・要望

- 17日 函館-シンガポール間の国際定期航空路の開設に関する要望
- 27日 北海道東北開発公庫存続について

* 慶弔・その他

- 1日 函館市年賀会
- 5日 衆議院議員佐藤孝行特別委員会委員長就任祝賀会
- 〃 函館工業高等専門学校延興校長他来所
- 6日 五稜郭タワー(幌野澤参与、中野社長来所)
- 〃 函館市井上企画部長、岩船商工観光部長他来所
- 〃 北海道商工会連合会大角渡島支部長他来所
- 7日 函館市消防出初式
- 8日 犬島豊作氏北海道産業貢献賞受賞記念祝賀会
- 9日 北海道新聞社、北海道文化放送、エフエム北海道新年交礼会
- 〃 (協)函館専門店会新年交礼会
- 〃 会頭より事務局年頭挨拶
- 10日 日本団体生命保険(株)北海道営業局長加第二営業部長他来所
- 11日 新都市五稜郭協議会平成7年新年例会
- 〃 北海道税理士会函館支部新年交礼会
- 〃 函館機械金属造船工業協同組合連合会新年交礼会
- 〃 北海道経済同友会松田事務所長来所
- 12日 北海道議会議員川尻秀之助後援会事務所開き
- 〃 北海道議会議員島山博連合後援会事務所開き
- 〃 本所婦人会新年懇親会
- 〃 (株)乃村工芸社北海道支社山田営業部長来所
- 〃 コープさっぽろ開発室下村マネージャー他来所
- 13日 NHKラジオセンター「ふるさと産業情報」電話取材
- 〃 明治生命保険(株)坂田本社次長他来所
- 14日 函館青年会議所1995年度新年懇親会
- 15日 函館市教育委員会第47回函館成人祭式典
- 〃 函館市銭亀沢商工会新年交礼会
- 16日 函館シンガポール協会函館市民訪問団 (~1/20)
- 17日 NHK札幌放送局中室長来所
- 18日 岐阜県大垣市観光キャバパン隊表敬訪問
- 〃 (有)函館平安システム白雲殿新年披露
- 〃 函館特産食品工業協同組合新年懇親会
- 〃 北海道商工指導センター大槻副会長来所
- 〃 函館どつく(株)神津代表取締役社長他来所
- 〃 前田建設工業(株)黒岩顧問来所
- 〃 東急建設(株)柴山取締役札幌支社長他来所
- 〃 北東公庫渡辺総務課長他来所
- 19日 函館市亀田商工会平成7年新年交歓会
- 〃 五稜郭商店街振興組合新年懇親会
- 〃 第1回飛騨・美濃・木曾路 味と工芸まつりオープニングセレモニー
- 20日 北海道新幹線建設促進期成会北海道新幹線ルート公表のための調査着手祝賀会
- 〃 函館都心商店街振興組合平成7年度新年交礼会
- 〃 (社)函館地方法人会新年交礼会
- 〃 白崎憲司副後援会事務所開き
- 〃 北海道電力(株)函館支店原総務部長来所
- 21日 函館朝市協同組合連合会平成7年度新年交礼会
- 22日 北海道議会議員川尻秀之助後援会新年交礼会
- 〃 函館食肉鶏卵商業協同組合新年会
- 〃 函館青果物商業協同組合新年懇親会
- 23日 3級販売士養成講習会閉講式
- 〃 函館地方左官業協同組合新年懇親会
- 〃 (協)十字街商盛会新年懇親会
- 〃 名鉄観光(株)中野北海道営業本部長他来所
- 〃 (社)日本自動車販売協会連合会函館支部鈴木専務理事来所
- 24日 北海道議会議員桜井外治事務所開き
- 〃 函館青色申告会新年交礼会
- 〃 全日本空輸(株)河井取締役札幌支店長表敬訪問
- 〃 日本航空(株)柳取締役札幌支店長表敬訪問
- 25日 北東公庫山縣理事表敬訪問
- 26日 函館家具工業協同組合平成7年新年交礼会
- 〃 道立函館高等技術専門学校前田学院長、函館市高橋商工労働課長来所
- 〃 (財)北海道大沼国際交流協会竹田事務局長来所
- 〃 (株)丸井今井今井相談役表敬訪問
- 27日 ホテルショコラ三河整形外科医院オープン披露宴
- 28日 衆議院議員鉢呂吉雄政治活動5周年の集い
- 〃 濱海友の会設立1周年記念式典
- 31日 函館湯の川温泉旅館協同組合新年懇親会

ている。

(4) 建設関連

12月の管内公共工事請負額は、災害復旧工事の発注一段落に伴い引続き前年比マイナス45.4%と前年を下回った。また、6年度累計(4~12月)では、高水準であった前年を僅かながら上回っているものの、このところの発注額の減少を映じて伸び率は徐々に小さくなっている。一方、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(12月)は、貸家の高い伸びを主因に2か月連続して前年比プラス5.1%と前年を上回った。この間、建設業者は引続き高めの受注残を抱えており、足許繁忙感を持続している。もっとも先行きについては、例年の補正予算、ゼロ国債に基づく受注に期待はしているものの、災害復旧工事の進捗に伴う受注残減少を懸念する先もみられる。

(5) 漁業

漁業では、近海マイカ漁は漁期も終盤に入り、水揚げ量は減少しているが、漁期全体を通してみれば水揚げ量、金額とも前年を上回る豊漁でほぼ終了。また、スケトウ漁は12月の盛漁期に入り、水揚げ量は前年を僅かに下回る水準にまで持直したものの、年明け後は、再び低調な水揚げとなっており、これまでの累計をみると水揚げ量、金額とも前年を大幅に下回っている。

(6) 消費関連

12月の市内大型小売店の売上高は、衣料品は冬物重衣料の動きがいまひとつであったが、食料品が前年を上回る順調な売上を示したため、全体では前年並みにまで回復した。耐久消費財では、家電販売が白物家電の堅調に加え、パソコン等情報家電やワイドテレビ、家庭用ゲーム機に動きがみられるなど好調を維持した。また、12月の新車登録台数は、RV

車の好調等に加え、ウェイトの高い小型車が前月に比べマイナス幅を縮小したことから、再び前年比プラス6.4%と前年を上回った。この間、観光・レジャー面をみると、低価格ツアーを利用した本州方面からの団体客が引続き増加したため、12月の市内主要ホテルの宿泊客数が6か月連続して前年を上回ったほか、観光施設の利用客数も前年に比べ増加した。もっとも、1月入り後は、阪神大震災の影響から団体客のキャンセルがみられるなど、やや苦戦を強いられている模様。

3. 金融事情(12月中)

実質預金は、公金預金の減少等から、月中379億円増と前年の432億円増を下回る増加幅となったものの、残高ベースでは、ボーナス資金等の獲得を目指した年末預金増強運動の効果等から、前年比プラス1.9%と引続き堅調に推移。貸出は、資金需要は全体として依然不冴えながら、一部で更新投資を中心とした小ロットの資金需要がみられたほか、年末決済資金の申込みにもやや動意が窺えたため、月中238億円増と前年の214億円増をやや上回る増加幅となり、残高ベースでは前年比プラス0.3%と前年を僅かながら上回った。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期金利が住宅ローン金利等の引上げを背景に3か月振りに上昇したものの、短期金利が引続き低下したことから、全体では月中マイナス0.001%の小幅低下となった。

銀行券は、月中259億円の発行超とほぼ前年並みの255億円の発行超。

財政収支は、災害復旧工事を中心とした公共工事の支払増加を主因に、月中52億円の払超と前年の6億円払超を上回った。

データをチェック!

小学校の数

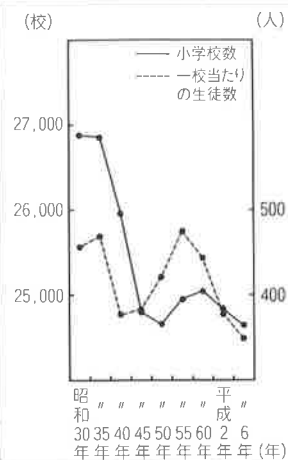
～ 少子化に伴い、減少傾向～

子どもの大切な教育の場となっている小学校。少子化が進んでいる現在、その数はどのように変わっているのでしょうか。

戦後の推移をみると、昭和25年で25,878校、30年には26,880校、そして第1次ベビーブーム世代の子どもが小学校に通いはじめた昭和32年には、26,988校と増加の一途をたどってきました。その後、第2次ベビーブーム世代の入学時など、一時的な増加はありますが、平成になってからは減少傾向をみせ、平成6年には24,635校と、ピーク時に比べて約2,000校も減っています。

この減少は、生徒数に関係があります。昭和33年の1校当たりの生徒数は500人でしたが、少子化が進んでいる現在、348人(平成6年)と、152人も減っています。1学級を40人とすると、1校当たり約4学級も減っていることになります。また、小学校の生徒数も全国で約858万人と、過去最低の数字になっています。

小学校数と生徒数の推移



地域の景気

金融経済

概況 12月

(平成7年1月30日)

日本銀行兩館支店

1. 概況

管内経済をみると、住宅投資が引続き堅調に推移し、公共投資もやや頭打ちとなりつつもなお高水準を維持しているほか、個人消費が一進一退ながらも大型小売店売上高の持ち直しにみられるように全体として明るさを増している。こうした最終需要の改善を受けて企業の生産活動も底堅く推移しており、景気全体は引続き緩やかな回復傾向を示している。

すなわち製造業では、水晶発振器が国内外における移動体通信機器の需要好調を背景として増産体勢を継続しているほか、セメントも外需、官公需向けにフル生産となっている。また、半導体は米国向け4MDRAMや国内パソコン、ゲーム機向けマイコン等の需要増加から、合板機械は豊富な受注残の消火のため、ともに高水準の生産を続けている。さらに、漁業機械も引続き順調な操業を維持している。なお、造船は新造船部門等が好調を継続しているものの、橋梁部門の不冴えから年度末を控えたこの時期としてはやや低めの操業に止まっている。こうした中、水産加工品の売上は、生鮮珍珠の堅調持続に加え、乾燥珍珠でも、12月に入り流通在庫の減少等を背景に受注が持直し、全体では2か月連続して前年を上回った。一方、製缶機械、水産加工機械の売上はともに低迷基調を脱していない。

非製造業では、12月の市内大型小売店の売上は、衣料品の動きがやや鈍かったものの食料品が前年を上回ったことから、5か月振りに前年並みに回復した。また、家電販売は、白物家電の堅調に加え、パソコン、ワイドテレビ等にも動きがみられるなど、引続き好調を持続した。12月の新車登録台数は、RV車の好調な売行き等を背景に再び前年を上回った。この間、12月の市内観光動向をみると、団体客を中心に引続き入込みが増加したため、宿泊施設、観光施設とも利用客数が前年を上回ったが、年明け後は阪神大震災の影響もあって、観光客の動きが鈍くなっている。

漁業では、近海マイカ漁は、水揚げ量、金額とも前年を上回る豊漁でほぼ終漁。また、スケトウ漁は、12月の盛漁期に入り水揚げ量がやや持直したが、年明け後は渡島海区を中心に再び低調な水揚げとなっている。

この間、当地主要企業37社の7年1～3月生産計画を窺うと、国内外における需要が好

調な電子部品(半導体等)や災害復旧工事向け需要が旺盛な生コンなどの先が、前期(10～12月)に続き増産または高水準の生産を計画していることもあって、全体としては底堅く推移する見通し。

また、1月17日に発生した阪神大震災が現在までのところ当地企業に与えている影響をみると、製造業のうち食料品の一部で関西方面への製品納入がストップしていることを除けば、特に目立った影響は出ていない。もっとも、観光面では、地震直後から近畿方面からの団体客のキャンセルが相継ぐなど、マイナスの影響が出始めている。

12月の金融動向をみると、預金は残高ベースで引続き前年を上回り堅調を継続している。貸出は引続き低迷の域を脱していないが、当月については月中増加幅、月末残高ともに前年をやや上回った。この間、管内銀行の貸出約定平均金利はほぼ前月並みの水準に止まった。

2. 主要業種別動向

(1) 機械、電子部品

水晶発振器は、国内や欧米などにおける移動体通信機器の需要好調を背景として、下請け先ともども増産体勢を続けている。半導体は米国での根強い需要を映じて4MDRAMが、国内でのパソコン・ゲーム機の売行き好調からマイコンがともに増産を続けており、全体でも高水準の生産となっている。合板機械も針葉樹対応機械の受注増加もあり、高水準の生産を継続している。また、漁業機械は大型イカ釣り船向けの需要増加もあってまずまずの生産水準を維持している。なお、造船は新造船部門、修繕船舶部門が好調に推移しているが、橋梁部門の不冴えから年度末を控えたこの時期としてはやや低めの操業に止まっている。

一方、製缶機械はこのところ新規受注に動意がみられるものの、引続き受注残が低水準であることから抑制的な生産体勢を継続している。また、水産加工機械も中小を中心とした水産加工業者の設備投資抑制を映じて、低水準の売上を余儀なくされている。

(2) 食料品

水産加工品では、生鮮珍珠が低価格品を中心に順調な生産を続けているほか、乾燥珍珠も問屋筋における流通在庫の減少等から、特に12月中旬以降受注が持直し繁忙状態が続いた。このため全体の売上は、2か月連続して前年を上回った。1月入り後の動向を窺うと、生鮮珍珠は引続き順調な生産を続けているが、乾燥珍珠では、年明け後は不要期でもあり、再び抑制的な生産体勢となっている。

この間、漁油は食料品向け等の需要が堅調に推移していることなどから、順調な売上となっている。

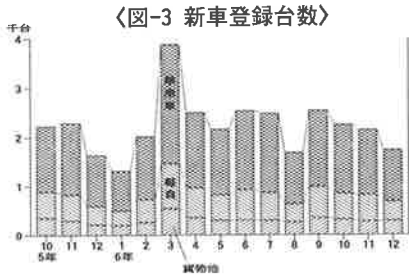
(3) その他製造業

セメントは、東南アジア、中東向け等外需の増加や官公需の好調もあってフル生産を継続している。また、生コンも奥尻島での防潮堤建設など災害復旧工事向けを中心に依然高水準の出荷を維持している。一方、段ボールの生産は、主力の青果物向けの出荷が低調に推移したため再び前年を下回った。合板は、家具向けの不冴えなどから過剰在庫を抱えており、生産抑制を続けている。また、漁網の生産は需要低迷を背景に引続き低調に推移し

② 新車登録台数

第3四半期の管内新車登録台数は、6,137台で前年同期に比べ0.2%の減少、前期（7～9月期）に漸く前年同期比増となった登録台数が、僅かながら再び減少に転じている。

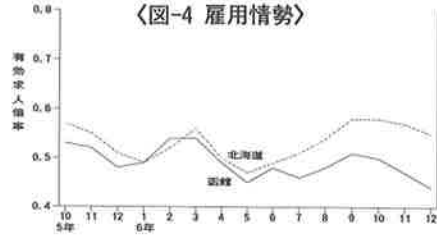
車種別では乗用自動車が3,786台で同1.2%減少、貨物・その他が887台で、同2.1%の増加、軽自動車が1,464台で同1.2%の増加となっている。



4. 雇 用 情 勢

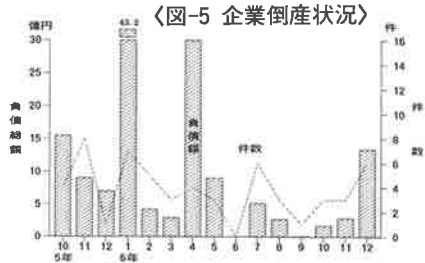
第3四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は、月平均有効求職者数が6,859人で前年同期に比べ1.9%の減少、月平均有効求人数は3,240人で同9.6%減少し、有効求人倍率は前年同期を0.04ポイント下回る0.47倍とな

って北海道全体との格差が広がる傾向を見せた。また、新規求人数は3,464人で同12.8%減少している。（パートの常用分含む）



5. 企業倒産状況

第3四半期の管内企業倒産は、12件で前年同期より1件減少、負債総額が17億9,500万円で、同43.0%の減少と、比較的安定して推移しているが、年末に多発したのに加え、大型倒産も発生しており、先行きが懸念される状況となっている。（負債額1,000万円以上、内整理を含む）



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成6年12月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,660,811	118.0	97.2
身の回り品	1,060,120	165.5	98.1
雑貨	1,023,673	161.8	93.7
家庭用品	911,183	144.4	101.8
食料品	3,565,982	210.2	100.5
食堂・喫茶	183,102	129.5	99.2
サピス	76,658	113.2	98.0
その他	839,050	156.2	101.0
総計	11,320,579	152.0	98.6

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
 テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

函館地域の 経済動向

平成6年度 第3四半期

平成6年度第3四半期の函館地域の経済動向は、公共工事が引き続き順調な進捗を見せ、住宅着工も堅調に推移、生産活動も業種間の格差はあるものの総じて底堅く推移している模様。また、個人消費面では大型小売店販売のうち主力の食料品が9期ぶりに前年同期を上回るなど一部で明るい兆しを見せたが、乗用車販売が再び前年同期を下回るなど一進一退。この間、有効求人倍率は引き続き低水準で推移、北海道全体との格差が懸念されるなど、総体では緩やかな回復傾向となっているものの、未だ先行き不透明な状況が続いている。

1. 公共事業発注状況

平成6年度第3四半期迄の管内公共関連工事総体の発注額は、1,108億2,600万円の前年同期に比べ47億3,400万円、4.5%増加しており、発注率は94.1%となった。

機関別にみると、函館開発建設部が発注額469億400万円、発注率88.4%で、前年同期に比べ17億8,800万円、3.7%下回ったが、引き続き災害関連事業の割合は多くなっている。函館土木現業所では発注額420億8,500万円、発注率89.9%で、同40億1,200万円、10.5%の増加、やはり災害関連事業の割合が多くなっている。函館市では発注額が218億3,700万円、発注率96.1%で、同25億1,000万円、13.0%上回っている。

2. 建築着工状況

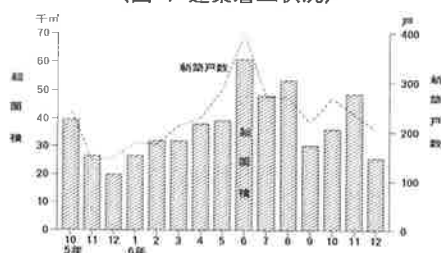
第3四半期の函館市内建築着工状況は、建

築物床面積合計が110,114㎡で前年同期に比べ28.5%の増加、このうち住宅部分床面積は81,468㎡で同39.9%増加している。

また、住宅総戸数は803戸で同33.2%増加しており、うち新築住宅が708戸で同32.6%の増加、増改築は95戸で同37.7%の増加となっている。

新築住宅戸数の内訳をみると、持ち家338戸(同22.0%増)、貸家257戸(同38.9%増)分譲・その他113戸(同56.9%増)となっている。

〈図-1 建築着工状況〉



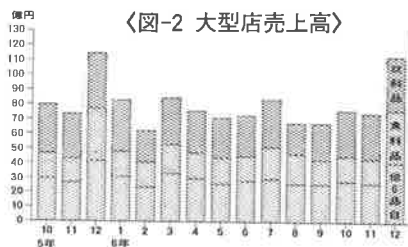
3. 個人消費

① 大型店売上高

第3四半期の市内第一種大型店売上高は、総額で264億1,436万円、前年同期に比べて1.5%の減少と、平成4年度第3四半期から9期連続で前年同期比割れとなっている。

品目別では主力の衣料品が99億242万円と同2.6%の減少と低迷が続いているが、もう一方の主力食料品では69億7,107万円、同1.1%の微増となり、こちらは平成4年度第3四半期以来9期ぶりの前年同期比増となっている。以下身の回り品が23億5,870万円、同3.8%減、雑貨23億2,081万円、同6.0%減、家庭用品22億739万円、同0.8%増となっている。(ニトリ家具を除く10店舗、消費税分除く)

〈図-2 大型店売上高〉



“吉原”でふるいにかける

商人物語—長谷川次郎兵衛—(3)



作家 島 武史

江戸時代、近江商人と並んでその活躍がめざましかったのが伊勢商人であった。あまりの羽振りのよさをねたんだ他国の商人たちが「近江泥棒、伊勢乞食」と悪口を言ったくらいだ。また、こんな言葉もある。「江戸名物、伊勢の稲荷に犬の糞」つまり伊勢の商人がそれくらいたくさん目に付いたということ。

そして、早くから江戸に進出し、特産の木綿を伊勢の農家から買い入れ、それを船で運んで江戸で売る。彼らは本邸を伊勢に置き、江戸に大店（おおだな）を構えて木綿問屋などを営んだが、経営は支配人に委ねるといふ経営方針をとっていた。このような伊勢商人たちの店は「伊勢店」と呼ばれて、一目置かれていたのである。その伊勢・松阪商人の代表者が長谷川次郎兵衛で、江戸大伝馬町に木綿仲買店を開いたのは延宝3年（1675年）、30歳のときである。

次郎兵衛は、早くから伊勢商人が連帯を強めるには、一人ひとりの商人が一軒一軒の商店管理をしっかりとしないといけないと考え、内部管理に目を向けた。丁稚（でっち）はもっぱら国元の伊勢地方から採用する。12、3歳

の男子を一度に14、5人ずつとっていく。丁稚奉公の基本は何といっても現場教育にあるわけだが、もう一つ独特の人間管理には、`ウーン、とうなってしまう企業経営者が多いのではないかと思う。

店には女っ気は全くない。色恋ざたの心配はないかわりに、若い者ばかりだから、エネルギーの発散方法を考えなければいけない。そこで店が、団体で`吉原、で遊ばせる。ところが、これに溺れる者も出てくる。20代の後半のころである。そして、間違いをしでかす。すると店では、これ

を待っていたかのようにクビにする。その人員不足をまた、伊勢から補充する。つまり、適当に新陳代謝をしながら優秀な人材だけを残したのである。

【島 武史(しま・たけし) 氏の略歴】

大正10年神奈川県生まれ。作家。商人史を中心とした研究のほかに、商業関係者を対象にした講演を行っている。著書「商人のふるさと紀行」など。

日本文芸家協会会員
日本ペンクラブ会員

商人物語

